事　業　計　画　書

様式第２号

（※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。）

団体名：AMAZING TAKARAZUKA　実行委員会

１　事業種別	行政提案型・自由提案型
※行政提案型 事業テーマ	（事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入） （6）創造力を育む　文化芸術の薫り高い宝塚をめざして ～文化芸術都市にふさわしい　市民が主役のまちづくり～
２　事業名	AMAZING　TAKARAZUKA　フェス（宝塚の音楽と食と文化の祭典）

３　事業を行おうとした動機・必要性

「文化のチカラ」が根付き広く浸透している宝塚。「音楽」と「食」が融合したイベントを通して、その魅力をさらに高め、市の文化芸術の醸成につなげます。コロナ禍を経験し、文化芸術の力と大切さに改めて気付かされました。そこで既に宝塚にある文化芸術を「音楽」と「食」を媒介として見えるものにすることで、新たな魅力を発見し、市民一人一人がその担い手であることに気づかされ、次世代の芸術家を育て、心豊かな生活を送ることができたらと考えています。

また「音楽のまち宝塚」のシンボルイベントとして令和元年まで 16 年実施されていた『宝塚　音楽回廊』があったように、市民のニーズは高いので、様々なジャンルの音楽を通して宝塚文化を盛り上げたいと思います。さらに国際観光文化都市でもある宝塚の「閑静」と「上品」を、新しい世代にも感じてもらえるように「音楽」に加えて「食」を提供。普段触れたことのないジャンルのアーティストのライブを間近で体感するとともに、市内のワールドグルメを一堂に集めることで、相乗効果を得られるイベントとします。イベントは世代・ジェンダー・障碍の有無にかかわらず、広く多くの市民に楽しんでいただけるものにします。

・有料の音楽パフォーマンス鑑賞（宝塚文化創造館）
　ジャンルにこだわらない出演者・プロの一流の演奏を聴く機会
・無料の音楽パフォーマンス鑑賞（花のみち・さくら橋公園）
　誰でも気軽に音楽に触れることができる機会
・ワールドフードブース・キッチンカー（有料）（宝塚市立文化芸術センター）
　市内にある各国料理店が出店

「音楽」と「食」を融合させたイベントを通じて、多くの市民に興味を持って受け入れてもらい、毎年楽しみにしてもらえるようなイベントに育てることで、「文化芸術都市・宝塚」のブランドイメージづくりにも大きく寄与するものと考えます。

4　事業を行う目的と期待される効果

※審査基準のうち「効果の広域性」「独創性」「継続性」が判断できる内容を含めて記載してください。

「効果の広域性」
音楽は宝塚出身者以外にも、様々な音楽フェスに出演しているアーティストも参加することで、内外に向けて広く広報をし、市民はもちろん宝塚市外からも参加者を見込むことができる。アーティストも様々なジャンルの方々に参画してもらうことで多種多様なニーズに対応していきたい。プロアマの演奏を通じて、市民の文化芸術意識が高まり、市内での文化芸術活動が活発になる。宝塚の名店に出店してもらう事で一同に楽しむことができ、お店にとっては後日足を運んでもらえることにつながる。

「独創性」
宝塚という土地が持っている文化芸術の街の空気感を体感できるほか、都市ではできないアーティストラインアップでのライブを実施することで、話題性が高くなると予想される。気軽に参加できる無料のプログラムも同時に行うことで、多くの人に楽しんでもらえる。宝塚のワールドグルメなお店を一か所で楽しむことができ、音楽とグルメで相乗効果が期待できる。

「継続性」
地元施設や店舗、そして地元企業の皆さんと一緒に作り上げていくことと、実行委員には以前の音楽フェス実行委員のメンバーが入ることで、地元に根付くイベントとして構築していくことができる。出演者も地元アーティストはもちろん、宝塚にシンパシーのあるプロミュージシャンをキャスティングしていく準備はできている。
協賛金を集めたり、ステージなどを有料にすることで、出演者出店者が参加しやすく、実行委員会の財政的負担を減らし、継続して開催することが可能になる。
1回目のイベントを成功させることが必要不可欠である。

5　申請までの検討経過

令和6年12月　宝塚市　観光にぎわい課へ素案含め相談
令和7年1月　ベース案、立ち上げる。
令和7年1月　企画案を再度宝塚市観光にぎわい課に相談
令和7年2月　活動を立案、宝塚商工会議所にて内容を発表
令和7年3月　活動に対して、資金不足が判明　FM宝塚にも相談
令和7年4月　宝塚市　文化政策課にきずなづくり推進事業補助金の相談をする
令和7年　5月　宝塚市　文化政策課にきずなづくり推進事業補助金の申請をする。

6　事業の内容

※実施時期、場所、回数、参加予定人員等を含めて具体的に記載してください。

第 1 回 AMAZING TAKARAZUKA フェス（宝塚の音楽と食と文化の祭典）

開 催 日：令和7年 9 月 20 日（土）
開催場所：宝塚文化創造館（有料ステージ）
宝塚市立文化芸術センター　みんなの広場（ワールドフードテントブース＋受付）
花のみち・さくら橋公園（キッチンカー＋無料ステージ）
開催時間：開場 10:00 ／ 終了 18:00 （予定）
内　　容：① 有料ステージ（宝塚文化創造館講堂）
プロ・セミプロ出演者 5 組 1 時間/1 組
② 無料ステージ（花のみち・さくら橋公園ステージ）
アマチュア出演者 6 組 30 分/1 組
③ キッチンカー 7 台（花のみち・さくら橋公園）
ワールドフードテントブース 13 店（宝塚市立文化芸術センター）
料　　金：ステージ：チケット制 3000 円/回 入替制計 300 名（1 回 60 名）
フード　：チケット制 2000 円 （500 円券 4 枚つづり）2700 名
集客予定：3,000 名
主　　催：AMAZING TAKARAZUKA 実行委員会

雨天の場合の判断
※有料ステージは雨天決行
※無料ステージは雨天中止
※フード：さくら橋公園のキッチンカー：雨天決行
みんなの広場のテントブース飲食：2日前中止判断、
HP での一般告知と関係者各連絡

7　市の担当課との事前協議の経過（事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入）

【第 1 回】令和 7 年 4 月 23 日 文化政策課へ事前相談。事業内容が行政提案型事業のテー マに沿った事業内容であるか確認を行った。

【第 2 回】令和 7 年 5 月 7 日 第 1 回協議を踏まえ、文化政策課と協議。事業内容につい て、テーマに沿った事業内容であることを双方で確認した。今後の申請書提出までのスケジュールについて、確認を行った。

【第 3 回】令和 7 年 5 月 15 日 申請書提出前に内容について文化政策課と協議。記載内容の不備、 補足事項の追記などの指摘や助言を受けた。修正のうえ、再確認を依頼した。

８　実施する安全対策

チケット：音楽ステージ用のチケット販売については
最善の方法を探り、プレイガイドなども使用を視野（要検討）
トラブル回避を考えている

事前手配：警備計画は宝塚警察署へ提出予定
キッチンカー等の出店により宝塚消防署に申請する
出店者に保健所への申請
周辺住民・自治会・まちづくり協議会への事前告知

当日
警備：導線の確保と安全性など、土地勘のある地元警備会社に依頼予定
運営：スタッフの怪我等に備えるため、行事保険に加入する。
混雑：フードチケットは当日のみの販売とし、会場に複数販売ブースを設け会場アナウンスにて混雑とトラブルを回避する。誘導はボランティアスタッフを多数配置しスムーズな運営を心掛ける。

雨天：２日前に実行委員会にて実施の有無を判断
イベント最中の雨天については運営マニュアルに基づき実行委員会での協議を行い中止判断を行う